

希望が丘こども医療福祉センター クリニカルラダー

平成30年3月改定

定義	レベル	I	II	III	IV	V
レベル毎の定義		基本的な看護手順に従い必要に応じて助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う助動的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する
到達目標		看護手順に沿い必要に応じて助言を得て行動できる	臨床場面において標準的な看護実践を自立して行える	専門的な知識技術を活用し子どもと家族に適切なサービスが提供できる	専門知識と技術を活用し卓越した看護を提供し適切なケアが提供できる	専門領域における熟練した看護を提供でき指導者を育成できる
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	<p>【レベル毎の目標】</p> 助言を得ながら子どもと家族の状況やニーズをとらえることができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族のニーズを自らとらえることができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族の状況や特性をふまえて、ニーズをとらえることができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族の状況を統合しニーズをとらえることができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族の状況の関連や意味をふまえてニーズをとらえることができる
	ケアする力	<p>【レベル毎の目標】</p> 助言を得ながら安全な看護を実践することができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族の状況に応じた看護を実践することができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族の特性をふまえて看護を実践することができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 様々な技術を選択・応用し看護を実践することができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践することができる
	協働する力	<p>【レベル毎の目標】</p> 関係者と情報共有ができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族やその関係者と多職種との連携ができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かすことができる
	意思決定を支える力	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと周囲の人々の意向を知ることができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族や周囲の人々の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	<p>【レベル毎の目標】</p> 子どもと家族や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	<p>【レベル毎の目標】</p> 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種ももった調整的役割を担うことができる
集合研修		新・転任者研修会への参加	専門分野に関する研修参加(センター内外) 社会資源の種類と活用方法(センター内外)	専門分野に関する研修参加(センター内外)	専門分野に関する研修参加(センター内外)	専門分野に関する研修参加(センター内外)
実践研修		看護倫理事例検討会 輪流ホップ・シンクスの扱い方 集合教育で行われたものを実践とともに知識の確認をする 急変時の対応 新人チェックリストに基づく	看護倫理事例検討会 輪流ホップ・シンクスの扱い方 急変時の対応	看護倫理事例検討会 急変時の対応	看護倫理事例検討会 急変時の対応 ジェネラリストとしての実践報告レポート作成	看護倫理事例検討会
到達目標		センターの理念を理解し組織の一員として助言を受け安全に看護を提供できる	部署目標達成に向けて、自らの組織役割を自己目標と連動させ目標達成に取り組める	部署目標の達成に向けリーダー的役割を發揮して目標達成に取り組める	部署目標の達成に向けて指導的に関わる事ができる	センターの理念と自己目標を連動させ組織改革を推進できる
組織的役割遂行能力		組織の一員としてコスト意識を持ち、正しい物流を扱えることができる 回避訓練に積極的に参加し、避難経路を確認する センター、看護部の理念を踏まえて常に行動できる 医療安全マニュアルに沿った行動及び、標準予防策を理解した行動ができる	組織における、リーダー的役割を認識し、主体的にメンバーに働きかけ、成果を残すことができる カンファレンスや会議の中で論理的に意見をいうことができる 医療安全の基準、手順を確実に実施できる 感染防止対策を確実に実施でき、子どもと家族にタイムリーに説明ができる 病棟患者や家族の状態を把握しており、業務の遂行に際して必要な場所へ適切な人材を配置することができる 委員会での1年間の取り組みを成果物として提出することができる ロインテント・アンケートの分析ができ対応策がとれる	看護実践、教育委員会、安全委員会として委員長としての役割を、遂行できる。また委員長のサポートを受けながら遂行できる リーダーとして他部門の連携、調整とチーム全体の看護計画がケアの受け手に届いたものであるか確認でき、指導的介入ができる 自らの看護を倫理綱領に照らし合わせ振り返ることができる 組織的・業務改善に取組み、見える形で成果を上げることができる 医療機器、薬品器具の点検ができ、形と物品管理ができる	看護部、センターから求められる役割を担うことができる。委員長としての役割を果すことができる 看護部の目標を基盤としてチームの指導、助言ができる 目標とスタッフのハイブ役として機能する チームの患者把握の的確にできるように、患者の看護の必要度イベントコントロールを運動して考えられる メンバーに実践のモデリングとしての指導的介入がとれる	看護理念・看護部理念・看護部目標・病棟目標を整理し、その役割を果すことができる。学習課題を明確に示すことができ、行動できる 病棟経営の視点で人的・物的資源の有効性について理解し実践できる 病棟理念、看護部理念、看護部目標、病棟目標を整理し、その役割を果すことができる。学習課題を明確に示す、教育プランを立て、講義として効果的なプレゼンテーションができる 院内外にネットワークを持ち、協力関係をつづけている 現場でのストレスマネジメント・メンタルヘルスへの対応ができる
集合研修		接遇研修 感染防止対策 医療安全対策 災害対策 安全・感染研修会(各2回/年)	接遇研修 組織におけるリーダーシップ グループワーク(リーダーシップ) 安全・感染研修会(各2回/年)	看護管理について 看護管理について 効果的なカンファレンスの進め方 安全・感染研修会(各2回/年)	接遇研修 看護管理について 目標管理について 管理に関する研修会参加 安全・感染研修会(各2回/年)	接遇研修 看護管理について 目標管理について 効果的なカンファレンスの進め方 安全・感染研修会(各2回/年)
実践研修		日々の業務遂行メンバーとしての役割が果たされているか指導する	リーダー役割の実践・評価	コーディネーター役割の実践・評価	師長代行役割の実践・評価	
到達目標		自己の課題が認識でき指導を受け学習できる	自己の学習課題に向けた学習活動を展開できる	自己のキャリアを履歴し小児、障害児領域に関する学習に取り組める	小児看護(障害児看護)に関して知識を深めスタッフ指導ができる	組織横断的にリーダーシップを発揮し部署や地域調整の協働ができる
教育研究能力		自己の考えを文章にまとめることができる	看護専門職としての自覚と責任のある行動をとることができる	センター外への研究発表をすることができ、講師として教育活動に参加できる	学会発表ができ、後輩の研究指導ができる	院外の研修会の講師として活躍し、生涯にわたって自己教育を続けることができる
教育研究能力		看護実践を通じて、自己の障がい看護観をまとめることができる 指導を受けながら自己の行った看護をエッセイとしてまとめることができる 専門的知識と技術の向上のために自主的に学習できる	自己の行動を看護者の倫理綱領に照らし合わせて振り返ることができる 指導を受けながら自己の行った看護をエッセイとしてまとめることができる 興味のある研修に積極的に参加できる 研修参加後の伝言ができスタッフと共有する方法がとれる 後輩に対して基準・手順に基づいた指導ができる 自己の課題を明確にして、目標管理シートに活かし、課題を解決することができる	指導を受けながら看護研究に積極的に取り組む専門性を高め成果物を提出することができる カンファレンスや会議の中で論理的に意見をいうことができる 研究倫理審査用紙を適切に記入することができる センター看護部、他施設での教育活動に参加できる(講師等) センター外への研究発表ができる 研修参加後の伝言ができ、組織に活用できる仕組み作りを行い、病棟もしくは院内のスタッフの行動改善が成果として得ることができる	センター内の業務改善について企画、提案、実施、評価ができ成果物を提出することができる 自己の教育活動を展開することができる 組織的研究活動を実施し、看護学会等に研究発表を(以上)行うことができる カンファレンス、症例更新に必要な取り組みをすすめることができる 部署及び看護部全体の倫理的行動力向上のための具体的な取り組みが成果として示すことができる	
集合研修		看護研究発表会への参加(センター内外) ケーススタディのまとめ方	看護研究とは 新人指導者研修 看護研究発表会への参加(センター内外) レポートの書き方	看護研究発表会への参加(センター内外)	看護研究発表会への参加(センター内外)	看護研究発表会への参加(センター内外)
実践研修		障がい看護とはレポート作成	新人指導への参加 ケーススタディとしてまとめる	新人指導の実施 学生指導の実施 研究の発表 カンファレンスの進め方(講師) ジェネラリストとしての実践報告	看護研究の実践及びスタッフ指導 看護管理実践報告レポート作成	